

公開研究会 「復興に資する建築計画を考える-実務に活かすために」

主催：日本建築学会 巨大災害からの回復力が強いまちづくり特別調査委員会

日程：2014年1月22日（水）18：00～20：30

会場：建築会館会議室（東京都港区芝5-26-20）

巨大災害からの回復力が強いまちづくり特別調査委員会においては、低頻度巨大災害に備えるために何ができるのか、これから何をすべきなのかを検討してきた。この中で、建築計画の関係者は被災地の現場における人々の暮らしを見つめ、理解することに注力し、「日常性」を取り戻すことの重要性を認識し、仮設期にある現状の改善等を提案・実践してきた。一方で、現在は同時に復興の仕込みの段階でもあるが、数多くの実務家による復興建築の計画・設計においては、計画学がこれまでに理解してきた生活に必要な諸要素が適切な形で盛り込まれているケースは、なならずしも多くはない。このことを踏まえ、復興建築の計画・設計担当の実務家とともに、復興に資する建築計画を考えてみたい。

プログラム（発表タイトルには仮題を含む）

1. 開会挨拶・主旨説明 大月敏雄（東京大学）
2. 主題解説
 - ①学会第二次提言と建築計画の課題 岩佐明彦（新潟大学）
 - ②実務からみた建築計画の研究課題1-設計の立場から
川崎直宏（市浦ハウジング&プランニング）
 - ③実務からみた建築計画の研究課題2-行政の立場から 米野 史健（建築研究所）
3. 討議およびまとめ

※都合により講演者が変更となる場合があります。

参加費：会員1,000円、会員外1,500円、学生1,000円
（資料代含む、当日会場でお支払いください）

定員：60名（申し込み先着順）

申込方法：Web 申し込み <https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=670> よりお申し込み
ください。

申込問合せ：日本建築学会事務局 教育・普及事業グループ 酒井
TEL03-3456-2051 E-mail：sakai@aij.or.jp